

モアニだより vol.8

2017.10発行

前回まで書いてくれていたスタッフが長期休暇中の為しばらくは私が担当。お知らせしたい事は普段ブログに書いてるのでネタに困りそうです…



店主 RIKA

10回目、開催しました！

「スーパーじいじフォーク&トークLIVE」。

第1回目は2014年11月8日。そして2016年5月28日の第6回目からはスーパーじいじの演奏の前や休憩中、終了後などにモアニ常連の音楽好きの方々にも参加して頂くようになり、記念すべき第10回(9/30)はスーパーじいじ以外に4名+1グループといういつもにも増して賑やかな会となりました。そもそもは土曜の昼下がりにゆる〜く音楽を聴きながら酒盛りしましょ〜って感じで始まりました。通常営業中でしかも演奏する曲はハワイアン以外の方が多いので、知らないでお食事に入ってこられたお客様には驚かれることも多々ありますが、入ってしまえばみんなアロハ〜♪なノリで楽しんで下さってます(きっとそのはず…笑)



三大楽器

ハワイアン音楽の三大楽器は、スラック・キー・ギターとスチール・ギター、そしてウクレレ。
スラック・キー・ギターは弦を緩めて独自のチューニングで弾く方法のギター。19世紀初めに今のカリフォルニアから渡ってきたメキシコ系カウボーイたちが伝授したのが起源と言われています。この分野で有名な松本ノボルさんやSlack-key Martyことまーさんにはモアニでも演奏して頂いたことがあります。
スチール・ギターはギターを水平にして指やバーで弦を押さえ、もう一方の手で持ったピックで琴のように弾く。検索してみるとエレキギターの元祖と説明されているサイトもありました。
ウクレレはもう知らない人はいないというくらいメジャーになっていますよね。

ウクレレの歴史

サトウキビ畑で働くためにやってきたポルトガル人移民3人組が生まれ故郷であるポルトガルの楽器、ブラギーニャを参考にして作ったそうです。
ウクレレの名の由来は諸説あります。
「飛び跳ねるノミ」
ハワイ語でウク=ノミ、レレ=跳ねるを意味し、演奏する時の飛び跳ねるような指の動きから連想された「ここへ来た贈り物」
ハワイ語でウク=贈り物、レレ=やって来るとも意味するので、リリウオカラニ女王はこれを信じた「踊るウーケーケー」
ウーケーケーレレと呼ばれていたという説。ウーケーケー=ハワイの3弦の楽器、レレ=踊る

なにせよ、芸術とフラを手厚く保護したカラカウア王の影響でウクレレの需要は高まり、最初にウクレレを作った3人組がそれぞれ楽器店や楽器修理店を始めました。3人の内、最も成功を収めたマヌエル・ヌネスは1930年代まで息子レオナルドとウクレレを作っていましたがあまりの注文の多さに弟子を採用しました。それがサミュエル・カイアリイイで、彼は1916年、ホノルルでカマカ・ウクレレ&ギターワークスを開店。息子のサムとフレッドがビジネスに加わり、その後1968年、会社組織としてカマカ・ハワイ・ینگ社が誕生しました。
ちなみに、1ヶ月の給料が5ドルしかない人々が多かった当時、ウクレレの価格は1本3ドル~5ドル。高級品だったため、買う余裕のない人はココナツの殻を半分切ったり、タバコの箱などの材料を使って、オリジナルのウクレレを作ったりしたようです。

そんなウクレレ、あなたも弾いてみませんか？
モアニダイナーでは初心者向けウクレレワークショップを月1回開催中♪
年に2回お店で発表会も開催しています。
詳しくはお店スタッフまで…

